

社会貢献活動

社会貢献に対する基本的な考え方

金融機関には、金融システムの安定・維持を図り、社会の健全な成長に貢献するという責任があります。そのため、金融サービスを通じた社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めています。「新型コロナウイルス感染症拡大への取り組み」「次世

代支援(教育・スポーツ・環境)」「災害支援」「MUFG社員の活動を伴う支援」を優先領域として、金融サービスによる貢献が難しい領域、社会にとって真に必要な領域において、寄付・ボランティア等による社会貢献活動を実施していきます。

～社会貢献活動の枠組み(寄付プログラム)について～

MUFGは、前事業年度におけるグループ業務純益^{※1}の0.5%相当額を社会貢献活動(寄付等)に拠出する枠組みを構築・運用しており、グループ各社の社会貢献活動関連拠出と本枠組みを合わせると、グループ業務純益の1%程度^{※2}となります。

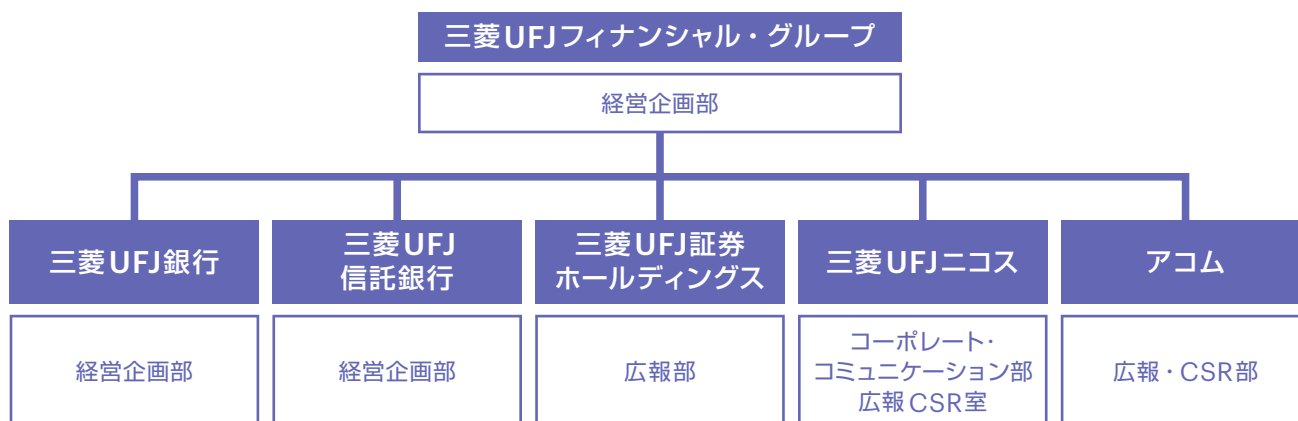
2020年度は、グループ全体で91.6億円を拠出し、新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、社会の安定の重要性をあらためて強く認識し、医療や学生などに対する各種支援を実施しました。今後も、金融サービスによる貢献が難しい領域や、社会にとって真に必要な領域に対して、より機動的で柔軟な支援を行っていきます。

※1 与信関係費用等控除後の業務純益。

※2 本年実施した新型コロナウイルス感染症に対する寄付・支援も本枠組みに含まれます。

推進体制

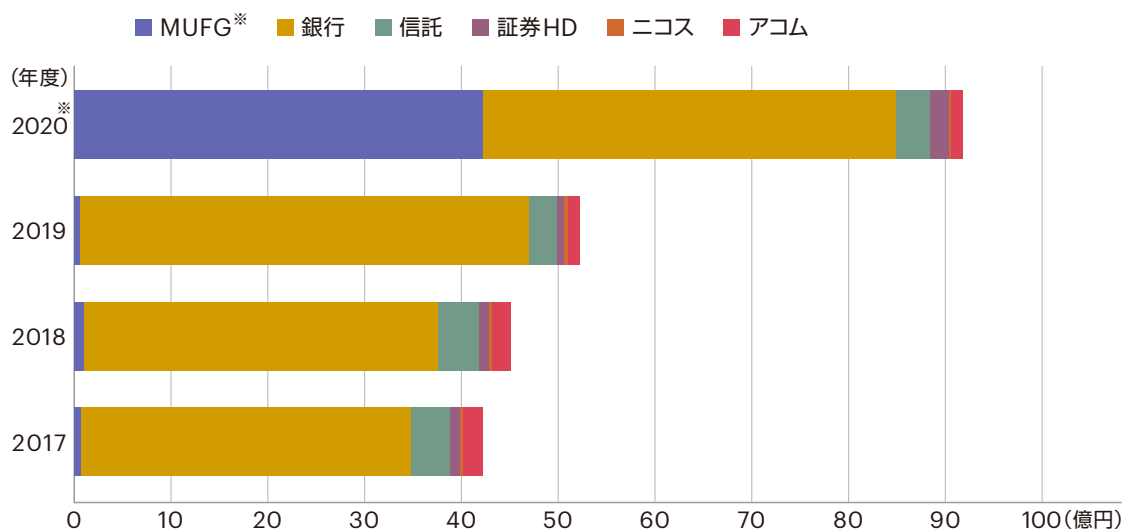
MUFGの経営企画部のもと、グループ各社に設置した社会貢献活動の推進担当部署が密接に連携しています。グループ各社の担当部署は月次で情報連絡会を開催し、グループ各社の取り組みや活動について共有することで、グループ全体で社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献する活動を推進しています。



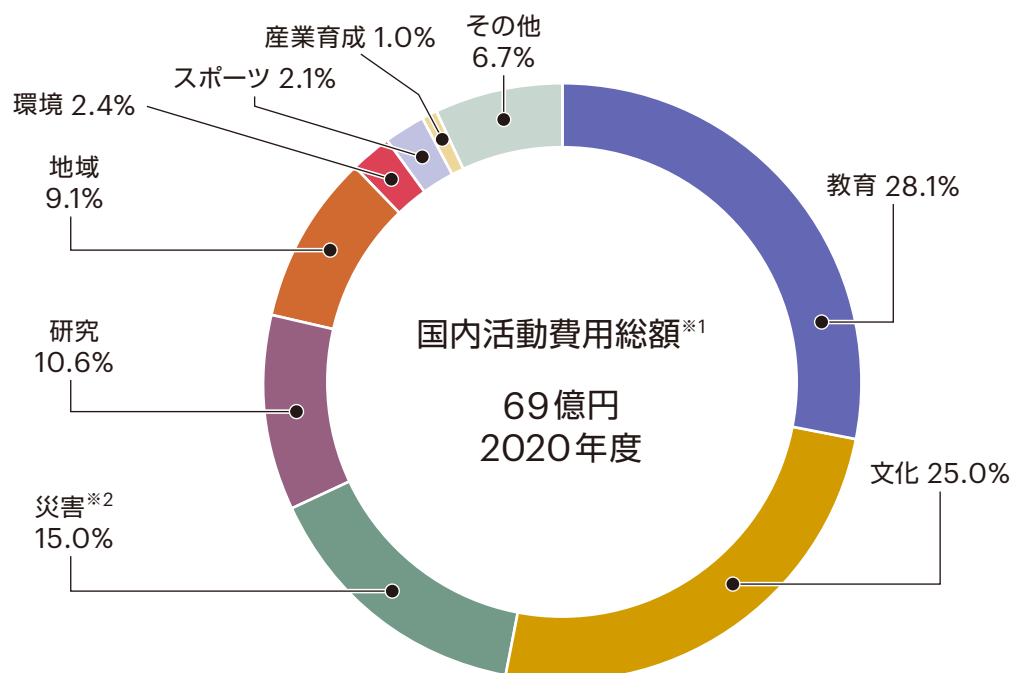
社会貢献活動費

- MUFGグループ全体の社会貢献活動費：91.6億円(2020年度)

社会貢献活動費(国内外含む)の推移



※ MUFGとして、前事業年度におけるグループ業務純益の0.5%相当額を社会貢献活動(寄付等)に拠出する枠組みを開始したため大幅に増加



※¹ 信託の取り組みについては海外の活動も含まれます

※² 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みの医療支援を含む

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大による甚大な影響がありました。私たちは、この大きな課題への対応に全力を傾け、感染拡大防止に係る寄付や支援などを社会の要請や必要に従い実施していきます。

医療支援：総額15億円

日本赤十字社への寄付

医療機関のマスク・防護服などの備品不足が深刻化するなか、感染症指定医療機関として全国の病院にて医療活動を継続している医療関係者の皆さまを支援したいとの想いから、「日本赤十字社」に寄付しました。（総額 5億円）

東京大学医科学研究所と大阪大学への寄付

感染拡大防止へのさらなる対応および中長期的な日本の医療の発展を支援すべく、国内でワクチン開発を先導している東京大学医科学研究所と大阪大学に寄付しました。（総額 5億円）

● 社長感謝状贈呈の様子



#おうちでMUFG／日本赤十字社と全日本病院協会への寄付

お客さまとともに取り組む寄付・支援の枠組みとして、個人のお客さまがインターネット取引等（三菱UFJダイレクト等）を利用された件数1件あたり39円（Thank you）を、「日本赤十字社」と「公益社団法人全日本病院協会」に寄付しました。（総額 5億円）



WEBからのお手続きで

“Thank you” を届けよう。

芸術支援：総額3億円

日本オーケストラ連盟への寄付

新型コロナウイルス感染症の影響で、クラシック音楽の公演が相次いで中止・延期となっている状況を踏まえ、人々の心を潤し暮らしを豊かにする音楽芸術活動の継続を支援すべく、「公益社団法人日本オーケストラ連盟」に寄付しました。支援金は加盟する37団体の活動資金に活用されます。（総額 3億円）



学生支援：総額16億円

日本学生支援機構とあしなが育英会への寄付

意欲や能力があるにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済的な理由等で進学を諦めざるを得ない子どもたちや、病気や災害等で親を亡くした子どもたちを支援すべく、「独立行政法人日本学生支援機構」と「一般財団法人あしなが育英会」に各5億円を寄付しました。

(総額 10 億円)



学生を対象とした調査モニターを募集

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりアルバイト等の収入が減少した学生を対象に、商品・サービスの開発、改善のための調査モニターを募集。「MUFG β

(ベータ)」と称して10数回にわたるオンライン調査を行い、協力いただいた学生へ謝礼をお支払いしました。
(総額 2 億円)

外国人留学生の進学・生活支援を目的とした寄付

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学費・生活費を賄うためのアルバイトの機会もなく経済的に困窮し、日本での学業の継続を諦めざるを得ない意欲ある外国人留学生の進学と生活を支援したいとの思いから、MUFGの東南アジアにおけるパートナーバンク

4行^{*}と協働し、「在日タイ留学生協会」「駐日インドネシア共和国大使館」「在日フィリピン留学生協会」「駐日ベトナム知識人協会」に各1億円を寄付しました。
(総額 4 億円)

※ タイのクルンシィ(アユタヤ銀行)、インドネシアのバンクダナモン、フィリピンのセキュリティバンク、ベトナムのヴィエティンバンク

● 在日タイ留学生協会(贈呈式)



● 駐日インドネシア共和国大使館(贈呈式)



その他の支援：総額100億円

メディカルファンドの設立

新型コロナウイルス感染症対策を含む、創薬・再生医療等を担うベンチャー企業への支援を目的に、銀行はライフサイエンス分野において豊富な実績を有する三菱UFJキャピタルと協働で、投資ファンドを設立しました。設立以降、新型コロナウイルス感染症対策を含む

創薬や再生医療、医療機器、遠隔医療等の多くの分野で100件を超えるご相談をいただいております。複数件の投資を実行しています。今後も、有望な分野に対して、積極的な投資を行っていきます。(総額 100 億円)

優先領域に対する取り組み

次世代支援【教育】

子ども支援団体への寄付

MUFGは、子ども支援の活動をしている団体のうち、闘病中の子どもたちを対象に活動している「認定NPO法人日本クリニックラウン協会」、貧困家庭の子どもたちを対象に活動している「特定非営利活動法人 Learning

for All」、「公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン」の計3団体に対して寄付を決定しました。2020年度より3年間の継続的な支援を実施します。（総額 1.8 億円）



劇団四季“こころの劇場”の協賛

MUFGは、劇団四季が「子どもたちの心に、『生命の大切さ』、『人を思いやる心』、『信じ合う喜び』など、生きていく上で大事なことを、舞台を通じて語り掛けたい」という祈りのもと、全国展開しているプロジェクト“こころの劇場”に賛同し、協賛しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、予定していた全てのこころの劇場公演が中止となりましたが、2021年度は、オンライン配信を支援する予定です。

じぶん未来クラブへの寄付

コロナ禍で活動機会を奪われた次世代（子ども・若者）への支援として、子ども向けの教育支援を行う「NPO法人じぶん未来クラブ」へ寄付を行いました。寄付金は、オンライン型教育プログラム「Global E-workshop」および「Project 1」の運営に充てられます。（総額 5,000 万円）

子どもたちへの金融経済教育

MUFGは、金融機関としての本業を活かした社会貢献活動として、小・中・高校の生徒向けの「金融経済教育」に力を入れて取り組んでいます。「金融や経済」の仕組みを学ぶ機会を提供するとともに、子どもたちが将来、社会的に自立し、自分らしい生き方を実現する力

を養うことができるよう、プログラムを工夫しています。

生徒向けに学校への「出前授業」や「職場体験学習」を毎年開催しており、2012年度からの累計は3,000回を超えています。

投資教育への取り組み

MUFGは、将来に向けた資産形成のための投資をより身近に感じていただくために、世代別の教育プログラムとして、社会人向けにもライフプランの立て方

や資産運用に関するセミナーを実施しています。その他、資産形成について関心を持つきっかけとなる漫画・コラムなど、多様なコンテンツを提供しています。

ユネスコスクール応援活動

持続可能な社会の実現・維持に欠かせない次世代育成のため、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と協働し、学校におけるSDGs教育を積極的に応援しています。2020年度は「ユネスコスクール SDGsアシストプロジェクト」として79校へ助成金を交付。またユネスコスクール全国大会に協賛し、SDGsに関する企業の取り組み紹介を通じて、ユネスコスクールの活動振興にも貢献しました。

- 気仙沼市：川の体験活動
(環境・海洋教育・地域遺産学習)



次世代支援【スポーツ】

MUFGジュニアテニストーナメント

銀行は、次世代支援の一環として、公益財団法人日本テニス協会へ寄付をし、プロをめざす子どもたちにとって登竜門となる大会「MUFGジュニアテニストーナメント」を開催しました。(総額 500万円)

感染症対策を厳重に行った中で開催された大会には、136人の子どもたちが参加しました。



卒業記念サッカー大会「MUFGカップ」

卒業間近の小学生にスポーツを通じて仲間との絆、関係者への感謝等を学んでほしいとの想いから、小学校6年生を対象に毎年、東京・愛知・大阪で卒業記念サッカー大会「MUFGカップ」を開催しています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、東京・愛知大会は中止になりましたが、徹底的な感染症対策のうえ開催された大阪大会では、124人の子どもたちがサッカー大会を楽しみました。



次世代支援【環境】

お客さまとともに取り組む「MUFGの森」

MUFGは、約10万本の植樹と10年間の育成費総額5億円の寄付を実施するプログラムを開始しました。銀行と信託のインターネット通帳の新規申込・切替の件数に応じて、Present Tree[※]を通じた植樹を行いました。これは1万世帯分の冷房での電力消費に伴うCO₂年間排出量に相当します。

※ Present Treeは、認定NPO法人環境リレーションズ研究所が2005年1月にスタートさせたプロジェクトです。大切な人や自分自身のために木を植えて、森林再生と地域振興に繋がります。少子高齢化の進む、全国各地の被災林や開発跡地、皆伐放棄地など「森をつくるべき場所」に木を植えて、都市部の人たちがその木の里親となり、地元の人たちと交流しながらともに育てていくことで、森だけでなく地域も元気にしていきます。



東京大学と産学連携

MUFGは、次の世代の未来を守るために東京大学と連携し、日本の脱炭素化のパスウェイとその実現における金融の役割について、協働して研究を行います。東京大学（未来ビジョン研究センター）が設立したグローバル・コモンズ・センター（以下CGC）では、安定的な地球システム（グローバル・コモンズ）の維持・管理に向けて実践的研究を進めています。

MUFGは、MUFGカーボンニュートラル宣言の実現に資するCGCの活動に共感・賛同し、その活動を今後3年間にわたり支援していきます。（総額 3億円）



水素バス支援

MUFGは、2025年予定の大阪・関西万博の開催に向けた大阪府の補助事業である燃料電池バスの導入を企業版ふるさと納税の仕組みを活用し支援しました。（総額 5,325万円）

燃料電池バスとは、水素と空気中の酸素の化学反応によって発生する電気を利用しモーターを駆動させ走行するバスのことで、走行時にCO₂や環境負荷物質を排出しないのが特徴です。

MUFGは、「水素・次世代エネルギー」を重点領域と位置付け、今後も水素サプライチェーンの構築、並びにその先にある持続可能な社会の実現に貢献していきます。



災害支援

「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」による支援

MUFGおよび銀行は、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と共同で2011年4月に「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」を創設し、最長15年にわたる中長期的な復興支援に取り組んでいます。

本基金は、「学校」を基点とし、東日本大震災により親を亡くされた小学生・中学生・高校生を対象とする奨学金プログラムを中心に、活動を行っています。本基金の最終規模は30億円前後となる見込みです。

～奨学金プログラム～

プログラム開始時に一時金として10万円を給付し、高校卒業までの在学期間中月額2万円（年間24万円）の奨学金を給付するもので、これまでに約1,500人に奨学金を給付しています。本プログラムは2014年度に小学校に入学した児童の新規募集を最後に、その奨学生が高校を卒業する2026年まで継続していきます。

熊本県・鹿児島県における大雨災害への支援

2020年7月に発生した熊本県および鹿児島県における大雨災害に対し、被災地の一日も早い復旧・復興を願い、義援金として寄付を実施しました。（総額 500万円）

MUFG 社員の活動を伴う支援

MUFG SOUL ～熱い想いを社会のチカラに～

MUFGでは、役職員一人ひとりが企画した社会課題解決のアイデアに対し、活動資金を拠出しています。

2020年度には、子ども食堂や老人ホームの活動支援、地域活性化への貢献など、役職員から集まった企

画・アイデアは300件以上に上り、合計2,500人超が社会貢献活動に参加しました。（総額1億円）

役職員の課題起点で取り組むことで、より多岐にわたる社会課題の解決に貢献していきます。

グローバルボランティア強化月間「MUFG Gives Back」

MUFGは、世界各地の社員が一齐に社会貢献活動を行う「グローバルボランティア強化月間」を2013年から設定しています。東日本大震災の復興で、日本が世界中から受けてきた支援に対する感謝の気持ちを世界の人々に伝える機会として、この取り組みを「MUFG Gives Back」と名付け、活動を展開しています。このようなグローバルベースで社員が一齐に取り組む活動としては、日本企業では最大規模であり、世界中の地域・拠点で社員たちが社会貢献活動の意義を実感する機会となっています。

2020年度、日本では『みんなで！ハッピークリスマス』プロジェクトを展開。MUFG社員が作成した716通のクリスマスカードが認定NPO法人クリニクラウン協会を通じて、全国49病院の小児病棟の子どもたちや自宅療養中の子どもたちに届けられました。

